

2012/09/04

ナンバリング制度の導入計画（案）

目的：

文部科学省が平成 24 年 6 月に提唱した「大学改革実行プラン～社会の変革のエンジンとなる大学づくり～」や、中央教育審議会大学分科会が平成 24 年 8 月 28 日に作成した答申「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～」への対応の一環として、科目のナンバリング制度を導入する。

期待する効果：

1. 授業の難易度や位置づけがわかるように各科目に番号を振ることで、学士課程の科目全体を体系化できる。
2. 学生が難易度に応じて授業を選びやすくなる。
3. 国内外の他大学との単位互換が容易になる。

制度：

科目のナンバリングは下記のルールに従って実施する。

(例) POL-2-1-005 「政治学 I」

POL 科目の学問分野を表すアルファベット三文字 (科研の細目表を参考とする)

2 科目の難易度

(0: 大学入学前レベル, 1: 大学入門レベル, 2: 大学初級レベル, 3: 大学中級レベル, 4: 大学上級レベル, 5: 大学院入門レベル)

1 科目の位置づけ

(1: コア科目, 2: サブ科目, 3: 教養教育科目, 9: 未設定)

005 科目の番号

(005, 010, 015 のように間隔をあけて割り振る。)

注: コア科目とは、その学問分野の学士号を取得する上で、必ず身に付けるべき知識・技能・態度を学ぶ科目のことで、卒業要件としての必修科目とは意味が異なる。

導入の開始時期：

平成 25 年度前期から活用する。

以上